

令和3年9月29日

報道関係者 各位

エイジレス章 受章伝達式について

標記の件について、下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

- 1 日 時 10月18日（月）午後1時30分～
- 2 場 所 市役所 本庁3階 第一応接室
- 3 受賞者 荒木 學（あらき まなぶ）
- 4 概 要 別紙

未来へつなぐ島原らしさ 暮らし続けたい、訪れてみたい、魅力あふれるまち



担当：島原市福祉課地域福祉班
担当 小川
電話：0957-63-1111（内線 277）
E-mail：fukushi@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

～エイジレス章～

高齢者が年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送ること「エイジレス・ライフ」を実践している事例について、内閣府より取り上げられた個人または団体に与えられる章。

※令和3年度は全国で50人が受賞している。

受賞者 荒木 學（あらき まなぶ） 84歳

経 歴 もともと、商船会社に勤め、船内の調理師として39年間県内航路の船に乗っていた。58歳で定年後、趣味で陶芸や竹細工、庭づくりなどを始める。その後、介護予防で事業参加後ボランティア養成講座の受講や自主体操グループ白山元気かい参加。元気かいのリーダーとして活躍。そのほか、ボランティア活動やサロンの支援者としても活動されている。

活 動 介護予防ボランティア養成講座を修了され、ボランティア連絡会メンバーとなられる。自主体操グループ白山元気かいは、ボランティアのほか、リーダーとして会を盛り上げ、毎週開催し、プログラム内容を充実させ仲間の輪を拡げ会員の拡大に貢献。元気かいは、一般介護予防、ボランティア活動と、様々なレベルの高齢者が地域の中で集い「自助」「互助」を活かした介護予防の拠点として活動している。そのほか、陶芸クラブを週二回（水・金）開催され、お世話役を担っている。参加者が作成した作品を焼く作業や、釉薬の調合を行い、できた作品は福祉まつりで年に1回販売し運営費の捻出のほか、地域の方々との交流やクラブの周知の場ともなっている。地区のふれあいサロンの支援者としても夫婦でサロン開催されている。持ち前の明るさと、一生懸命な性格、物づくりへの愛情で、自宅はサロンの参加者や元気かいの参加者などが立ち寄り、高齢者の寄り合い所のように日々訪問者がある。高齢化が進む現代、地域の希薄化が進む中で、男性のリーダーは貴重な存在であるとともに、多くの活動の支援者として、年齢を重ねても生き生きと活躍されている。

受章経緯 令和3年3月に内閣府より推薦事例の依頼があったため、事例がないか島原市包括支援センターへ尋ねたところ荒木氏の名前が挙がったため島原市包括支援センターに推薦書の作成を依頼し、内閣府へ提出したところ、エイジレス章受章へ至った。